

テュートリアル課題 胸に影

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2012-03-15 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 東京女子医科大学 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10470/29022

2007年度

Block 2 テュートリアル課題

課題番号 5

胸 に 影



無断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意ください。

TWMU Block 2 第一外科学 小山 邦広

浦影二郎さんは、普段から、健康には自信がありましたが、2年ぶりに検診を受けました。

気軽な気持ちで検診を受けたところ、“胸部X線写真にて異常あり、精査が必要”との結果でした。たばこが好きでやめられなかったこともあり、心配になりました。

資料1：胸部X線写真（正常，症例- 正面，側面）

抽出の期待される論点

- 1) 胸部異常陰影の種類と、その機序
- 2) 胸部異常陰影を来す疾患とその症状
- 3) 胸部の解剖、特に、肺、気管支、肺血管の構造
- 4) 胸部X線写真の読み方
- 5) 喫煙と肺疾患の関係

浦影さんは東京女子医科大学病院呼吸器センターを受診しました。担当医から、「レントゲンで、異常な影が認められるので、胸部 CT を施行して、もう少し詳しく調べてみましょう。」と説明されました。

資料 2 : 胸部 CT (正常, 症例)

資料 3 : 検査データ

抽出の期待される論点

- 1) 胸部異常陰影と症状
- 2) 胸部 CT の読み方
- 3) 胸部異常陰影をきたす疾患の鑑別診断
- 4) 確定診断のための検査

さらに、担当医から、「痰を採って顕微鏡で調べたところでは異常な細胞は認めませんが、診断をはっきりさせるため、気管支鏡で、気管支を観察し、細胞を取る検査が必要です。」と説明を受けました。

後日、経気管支肺生検(TBLB)、擦過細胞診を施行しました。

また、他に、頭部MRI、腹部CT、PETを、予約しましたが、浦影さんは、「肺の病気なのに、何で、頭や、お腹の検査をしなければならぬのだろうか？」と疑問に思いました。

資料4：経気管支擦過細胞診(症例，炎症例)

抽出の期待される論点

- 1) 喀痰細胞診の意義
- 2) 気管支鏡検査、経気管支肺生検(TBLB)、擦過細胞診
- 3) 全身検索の意義

検査結果を聞きに受診すると、担当医から、「悪い細胞が、認められるので、手術したほうがいいです。」と説明されました。浦影さんは、「手術しないで済む方法はないのですか?」と聞きましたが、「化学療法や、放射線治療もありますが、手術でとるのが、最も、確実です。」と説明を受け、手術に同意しました。呼吸器外科に入院後、左肺上葉切除術、リンパ節郭清術が行われました。術後は経過良好で第10病日に退院しました。

資料5：摘出病理標本写真(マクロ)、

資料6：摘出病理標本顕微鏡写真

抽出の期待される論点、

- 1) 手術術式より、予想される疾患
- 2) 退院までの術後経過
- 3) 病理組織診断

病理組織標本より、良性腫瘍か、悪性腫瘍かの鑑別

腫瘍の特徴(上皮性、非上皮性かの鑑別、分化等)はどうか

病理検査の結果は、原発性肺癌でした。主治医からは、「組織学的に、リンパ節に転移しているので、少し進行しています。補助療法も考えています。」と説明されました。

抽出の期待される論点

- 1) 原発性肺癌とはどのような腫瘍か
- 2) 肺癌における、リンパ節転移とはどのような経路でおこり、どのような状態であるか。
- 3) この例ではどのくらいの予後が期待できるのか
- 4) 補助療法として考えられるのは何か